

学校の中での楽しみは何？

「1位…遠足、2位…休み時間、3位…給食」

これはある団体が、大人を対象に小学校時代に楽しかった時間を聞いたアンケートの結果である。私自身も小学校に行く最大の目的が、休み時間に友達とドッジボールなどの外遊びをすることであったことを思い出した。

本校の子供たちも、休み時間を楽しみにしている。そんな子供たちが恐れているのが、職員室のベランダに掲げられる「赤い旗」。これが、掲げられたときには、運動場に出て遊ぶことができないのだ。これは、雨や雪の影響で運動場がぬかるんでいるときに、掲げられる。「先生、まだ赤旗ですか？雨は止んでますけど……。」

と、訴えてくる子供は少なくない。私のように、休み時間を一番の楽しみとして小学校に通っている子供にとっては、大変大きな問題である。

子供だけではなく大人にとっても、休み時間は心や体をリフレッシュさせる上でも大切である。ただ、大人と子供の休み時間は、少々違うようだ。休み時間の中で子供たちは、友達と遊ぶ楽しさを味わうだけでなく、友達ともめることもある。これを子供たちの中で解決していくことが、とても大切な学びの場となっている。もめながらも互いに譲り合い、理解し合い、関係を深めていく。そこに大きな価値があり、楽しかった思い出に変わっていく。赤旗が掲げられる日が少なくなることを、子供とともに祈りたい。

さて、休み時間も大切だが、子供にとって授業も大切な時間にならなくてはならない。六西小での思い出の一つに「楽しい授業」が入るように、取り組んでいきたい。



運動場の駐車場利用について

今月、14日の授業参観では、多くの方々に足を運んでいただいた。その後のアンケートの中に、「運動場を駐車場として開放してほしい。」という、声をいただいた。悪天候のときなど、私たちも「自家用車で来ていただけたら……。」と思うこともある。しかし運動場には、雨水を排水するための暗渠排水管が、埋められている。このシステムが、機能しているおかげで、雨がどれだけ降っても、数時間後には、子供たちが運動場に出て遊んだり授業を受けたりすることができる。



どの学校にも、このシステムが地中に整備されている。しかし、駐車場として運動場を利用し続けた結果、このシステムが崩壊して、少雨であっても運動場が使えなくなった学校が多くある。子供たちの楽しみと学びを保障するために、極力運動場の駐車場利用を避けていきたいと考えている。ご理解とご協力をいただけたら幸いである。